

領 収 証

岩崎 さやこ

様

No. _____

金 額

¥ 165,281

内 訳

現 金

小 切 手

手 形

但 いわじや通信 配石代

2024 年 9 月 7 日 上記正に領収いたしました

株式会社 グルービー

〒181-0013

東京都三鷹市下連雀6-6-71-102

TEL 0422-26-6324 FAX 0422-26-6342

登録番号



GR1622

岩崎さやこの
いわさや通信

2024年5月号

vol.3

発行：2024年5月7日

編集：岩崎さやこ

「いわさや通信」では、岩崎さやこの議会報告をお届けします。

議員活動も1年が経ちます。たくさんの方々にお世話になりました。感謝申し上げます。
この1年間の市議会での質問については裏面をご覧ください。
また市政報告会「ねずみを食べた母さんとおしゃべりしよう会」第1回を開催します。
会では石川県での災害ボランティア活動についても報告します。

東久留米市の未来を支える

環境・エネルギー政策を詳しく知ろう！

東久留米市の夏、毎年暑いですね。

昨年の7月には37.7度という体温以上の気温を記録し35度以上の猛暑の日も増加傾向。地球温暖化や気候変動は、降水量や海面水位の変化、生態系の喪失をもたらし、いかに自然界の変化が私たちの日常生活（インフラや食料不足）に影響を与えるかが心配されています。



東久留米市は2023年3月1日に「ゼロカーボンシティ宣言」をしています。

東久留米市の二酸化炭素排出量は、全体で約30万7千トンです。（2022年）

約半分の13万トンは市内家庭起因のもの。（その他、産業部門6万トン、自動車3万トン、など）



国の掲げた中間目標（2013年排出量の46%削減）を達成するには、東久留米市は今後6年間でおよそ10万トン減らし、20万トン程度の排出量にする必要があります。

東久留米市のゼロカーボンシティの取り組みの一つに、柳泉園クリーンポートのごみ焼却で発電した余剰電力活用があります。

（新たに化石燃料を購入せずに発電するためCO2排出減になるため）

発電した電気は、2分の1をクリーンポートや施設内工場等で使用し、2分の1を売電し、売ったうちの3分の2を市内公共施設に送っています。

ごみ処理施設（柳泉園組合）

東京都東久留米市下里 4-3-10

柳泉園組合は、地域の家庭や事業所から出る廃棄物を効率的に処理し、最新の環境技術を用いて焼却処理やリサイクルを行っています。見学者向けの展示スペースもあり、環境教育の場として活用されています。



訪問しました！



- 1 柳泉園クリーンポート（令和6年4月）
- 2 調布市ふじみ衛生組合（令和5年11月）
- 3 リサイクル・プラザJB 埼玉県さいたま市（令和6年5月）

コラム ゼロカーボンシティとは？

“ゼロカーボン”とは、CO2を出す量－CO2を吸収する量＝0（日本語では“実質ゼロ”や“カーボンニュートラル”という）のこと。環境省は2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロにするため、地方公共団体も温室効果ガス削減に向けた施策を策定し実施するよう求めており、現在、全国のおよそ半数の自治体が宣言をしています。

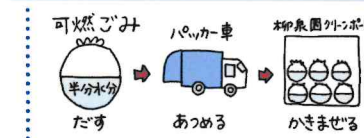


ご家庭で
／すぐできる／
環境対策
生ごみは水分を取り除いてから捨てると燃焼効率が良くなります。

東久留米市
可燃ごみの一生子どもたちにもわかりやすく
漫画にしてみました！

可燃ごみがどのように処理され、リサイクルされるかをまとめました。

1 ごみ処理場（柳泉園）に運ぶ



可燃ごみの水分量は平均して45%程度

2 ごみを燃やす

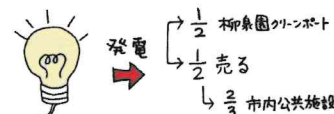


3 ②の蒸気ので電気を作る

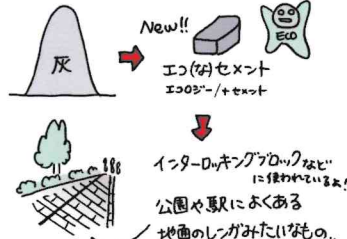


作った電気と灰の利用方法

電気の使い道



灰の使い道



市議会で岩崎が行った質問の概略です。



市の 子育て環境が 改善傾向に！

0歳児の一預かり保育、おむつの無料配布事業、宿泊を伴う産後ケアの実施が始まり、10月から義務教育就学児（＝小中学生）医療費助成の所得制限が撤廃されます！また長年懸案だった笠松坂の通学路も令和8年から工事が始まり歩道が整備されます。令和6年5月 雨が降る朝、笠松坂の通学路▶



介護 福祉	身寄りのない方が亡くなった場合に、市が行う調査や火葬の手配などの事務負担及び死後事務について昨今トラブルの発生も懸念される。提供事業者に対する認証制度を設ける自治体もあるが、このような制度導入のニーズは市内に見られるか。(R5.12月) 近年、賃貸物件に住む孤独死の方の第一発見の6割は管理人や配送業者、警察など第三者。孤独死の4割は3日以内に発見。東久留米市では75歳以上の一人暮らしの方が1万2千人。単身高齢者の見守りについての取り組みの現状を伺う。(R5.12月) 認知症についての小学校でのサポーター養成講座の実施状況について伺う。また認知症介護者家族会(つつじ会)は、東部・中部・西部の居住地別に分かれているが、いずれにも参加可能にできないか。また高齢者の集まりでは、場所を借りる費用や借りられる場所が少ないことが一番の課題のようだ。認知症カフェとミニデイホーム、サロンに対する支援について伺う。(R6.3月)
子育て 男女	本市ではR6年10月から義務教育就学児医療費助成における所得制限が撤廃される。もしも高校生医療費助成の所得制限を撤廃した場合、負担額はいくらになるのか。(令和5、6、7年度においては約2500万円、令和8年以降は約4900万の市の負担になる。)(R6.3月) 市内で今後、病後児保育事業が拡大するとの事だが、未だ実施機関が少ない。今後の提供数増を期待する。(R5.12月) 令和6年度より対象を拡大し0歳児からの一時預かり保育が始まるが、利用事由、申請理由の提出を求めている、不要にならないか。(R6.3月) 男女平等推進センターの独立した窓口を開設し、近隣市と同等程度のセンターを設置できないか。(R5.9月)
教育	小中学校卒業時の証書ホルダーを公費で購入できないか。(卒業生一人1200円の記念品予算の範囲内で可能。)(R5.6月) 小学校は運動会の競技の中に、組体操など、靴を脱ぎ裸足で行うものが含まれている。校庭の釘などの安全点検を徹底できないか。(R5.6月) 学校備品について、古い備品が目立つようだが、備品購入について伺う。(R5.9月) 学校の水泳指導の際のスクール水着の指定について、体の性と心の性と異なる児童生徒へ配慮した案内にしてほしい。(R5.9月) 学校図書館でも、公共図書館の選書基準に近い形で、学校図書の入替えを行い、書籍の充実を図っていただきたい。(R5.9月) 公立図書館で作成しているパスファインダーの活用について。市の地域資料をデジタルアーカイブ化し学校の学習に活用できないか。(R5.9月) 電子学校図書館は電子公共図書館の導入が前提のようだが、市の現状を伺う。(R5.9月) わくわく健康プラザにある郷土資料は、わくわく健康プラザ以外のアクセスの良い施設で集約化できないか。(R5.9月) ふるさと納税を利用し、教育に特化して行う自治体クラウドファンディングは実行可能か。(R5.9月) かけこみハウスについて、住宅の呼び鈴を鳴らし状況を伝え、必要な場合は警察へ繋げる通報手段にできないか。(R5.9月) 柔軟で多様な学びを子ども達に提供できるかが現在学校に求められている。本市の不登校児童生徒の現状について伺う。(R5.9月) 中学校においても小学校同様に、自閉症・情緒障害の特別支援学級を固定的に設置できないか、考えを伺う。(R5.12月) 不登校児童支援に関わる諸機関が連携する連絡協議会を創設できないか。また支援団体を記したマップなどの作成はできないか。(R5.12月) 市内学校は、学期ごとにいじめアンケートを記入し担任に提出している。 いじめ防止に関して子どもたちが切手不要で第三者の立場の担当課などに手紙を出せるような他自治体の取り組みを参考にできないか。(R6.3月) 屋内プラザで夜、読書や勉強をしている方がいる。照明が暗く、このような方々に電気スタンドやライトの貸し出しは可能か。(R5.9月)
福祉	今後の下里小学校や駅西口の改修等の工事の際には、カラーユニバーサルデザインに配慮したものにしてほしい。(R5.12月) 市本庁舎に1階正面玄関への点字ブロックの設置の有無について伺う。(R6.3月)
DX	「心豊かな暮らし(ウェルビーイング)」につながる市民の声を聞く場について。(R5.6月) ドローン飛行による災害時の被災地図づくり、川の氾濫や道路の冠水把握。道路損傷や不具合の「道路通報システム」利用について。(R6.3月) ウォーキングマップ等アプリ内に入る予定のマップに関して、歩きやすさに関して、通学路点検結果を反映できないか。(R6.3月)
環境	指定収集袋を、環境を考え、レジ袋の代わりに使用できるよう、ばら売りを推進してほしい。(R5.9月) 社会的にキャッシュレス決済の普及が進む中、指定収集袋についてもクレジットカードやその他のキャッシュレス決済に対応できないか。 市は、2023年に「2050年ゼロカーボン社会の実現」を宣言した。市のゼロカーボンシティの実現に向けての取り組みを伺う。(R6.3月) 令和5年2月に発生した、柳泉園の不燃・粗大ごみ処理施設集積場の火災は、不燃ごみに混入したリチウムイオン電池等が発火、周辺ごみに引火したことによるものと推測されている。リチウムイオン電池の回収を工夫できないか。(R6.3月)

参加費無料

開催告知

ねずみを食べた母さんとおしゃべりしよう会【第1回】

日時 5月26日(日) 14:00～16:00 場所 成美教育会館 研修室

石川県の災害ボランティアのお話もします

令和6年5月
七尾市ボランティアセンター前▶



岩崎さやこ後援会

〒203-0021 東久留米市学園町 1-9-26

TEL 090-9202-1881

E-mail higashikurume@iwasakisayako.com

HP <https://iwasakisayako.com>

岩崎さやこプロフィール

1970年東京都生まれ。都立立川高校卒。一橋大学、同大学院卒。博士(アフリカ研究、社会人類学)。日本学術振興会の特別研究員としてアフリカ・タンザニアで2年間調査に従事。慈恵医科大学看護専門学校講師、東京大学大学院学術研究員、東久留米市男女平等推進市民会議市民委員、宿泊介護勤務やPTA代表を経て、現在東久留米市議会議員1期目。第4位当選。4児の母(長男は生まれつきの病気で他界、現在3児)。小学校時代は沖縄県那覇市で育つ。広く子どもたちのために活動中。

政策や日々の活動を発信しています

